

\*\*\*\*\*

ジオ・ラボ ネットワーク通信 2014.12 第 43 号

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：協同組合関西地盤環境研究センター

- ・北海道土質試験協同組合
- ・協同組合土質屋北陸
- ・関東土質試験協同組合
- ・中部土質試験協同組合
- ・協同組合関西地盤環境研究センター
- ・協同組合岡山県土質試験センター
- ・協同組合島根県土質技術研究センター
- ・協同組合広島県土質試験センター
- ・宮崎県地質調査業協同組合

なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

\*\*\*\*\*

2014 年も残りわずかとなりました。ジオ・ラボネットワーク通信第 43 号を発行しました。ジオ・ラボネットワークの会員の情報発信の手段として発行しております。

●ジオ・ラボネットワーク経営懇談会臨時会報告

日時：平成 26 年 10 月 23 日(木) 午後 2 時～5 時

場所：中部土質試験協同組合 会議室

出席者：全地連 2 名、組合出席 16 名、計 18 名

議題(1) 各協同組合の平成 25 年度上半期の運営状況についての報告があった。

議題(2) ジオ・ラボネットワークからの報告・審議

資料 2-2 補助金事業ジオ・ラボネットワーク技術研修会報告 (中山委員)

- ・開催の効果と継続的な開催への期待がある。

資料 2-3 ジオ・ラボネットワークブース展示報告(中山委員)

- ・土質試験業務に対する啓蒙が出来た。動画による実技説明が好評で、複数の入手要求があった。全地連「技術フォーラム」への投稿を活発化させたい。

資料 2-4 ジオ・ラボネットワーク技術者交流会報告 (坪田委員)

- ・開催組合の費用を軽減するための、不足分を各組合で負担する。

資料 2-5 得意試験者一覧 (坪田委員)

- ・ネット内で情報を共有出来るようになった。記載内容を吟味する必要がある。

資料 2-6 平成 27 年度技術者交流会開催 (案) (中山委員)

- ・平成 27 年度は広島組合で開催する事とした。

資料 2-7 平成 27 年度技術者研修会 (案) (中山委員)

- ・平成 27 年度の開催の提案があった。

資料 2-8 人事交流計画策定

- ・研修会を活発化させ、人事交流を試行する旨の説明があった。

資料 2-9 平成 27 年度経営懇談会臨時会 (案)

- ・平成 27 年 10 月 30 日に北海道組合で開催する事を決定した。

資料 2-10 管理職研修会 (案)

- ・プレーイングマネージャー研修会を 11 月に開催する事とした。

資料 2-11 運営委員会委員の件

- ・土質屋北陸の森川氏を委員にする事とした。

議題(3)全地連からの報告

- ・平成 27 年度以降経営懇談会はジオ・ラボネットワーク事務局が主たる運営を行い、全地連はオブザーバー参加。

(事務局 中山 義久)

関東土質試験協同組合

mail to : uketsuke@kstc.or.jp

今回は当組合の概要を簡潔にご紹介します。

名称：関東土質試験協同組合 代表者：理事長 知久 明 設立：昭和 53 年 10 月 12 日

所在地：東京都大田区大森南 3-2-18 土地：509.52 m<sup>2</sup> 建物：495.58 m<sup>2</sup>

出資金額：48,500 千円 年商：約 2 億円 (26 年 3 月期) 組合員数：32 社 職員数：14 名

地区：東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・静岡県 事業：室内土質・岩石試験

運営方針：①組合員各位から信頼される組合 ②組合員各位の良きパートナーとしての組合 ③組合員各位に満足していただける「常に良質の技術サービス」を提供できる組合 これらにより土質試験分野において社会への貢献を目指す。

当組合では試験技術に関するご相談の他営業展開の一環として、ご依頼のありました試験試料を、組合職員が各社或いはボーリング試料採取現場を訪問し受け取っています。このような活動により、試験内容の確認がその場でできるとともに、営業情報収集の場ともなっています。また、発注者とのコミュニケーションが密となり、関係保持、改善の貴重な機会となっています。

役職員一同、よりお役にたつ組合を目指しています。ご支援、ご鞭撻いただければ幸いです。

### 北海道土質試験協同組合

mail to : [hsrc@src.or.jp](mailto:hsrc@src.or.jp)

試験測定精度の向上を図るべく、空圧式全自動圧密試験機（テスコ製 10 連）を新規導入、4 連三軸圧縮試験機（メガトルクモーター駆動タイプ）の改良を行い先月より本格稼働しております。

○全自動圧密試験機：供試体サイズは、粘性土用の標準φ60mmのほか、シンウォールチューブサイズφ73mm×h2.5cmにも対応できるタイプとなっています。

○4連三軸圧縮試験機：供試体直径は、φ35、φ50、φ75、φ83、φ100mmに対応しています。また、載荷装置に新メガトルクモーターを採用し、せん断速度も0.00375mm/min～2.062mm/minとせん断速度の非常に小さな試験にも対応可能となりました。



4 連三軸圧縮試験機



空圧式全自動圧密試験機

(技術部 山内昇)

### 協同組合関西地盤環境研究センター

mail to : [tech@ks-dositu.or.jp](mailto:tech@ks-dositu.or.jp)

#### 【新規導入試験機】

新しく三軸試験機を導入しましたので紹介いたします。

TESCO 製 3 連式三軸試験機（平成 26 年 7 月導入）

・製品概要

供試体寸法：5×10cm、7×14cm、7.5×15cm、10×20cm

試験の種類：UU、CU、CD、CU bar

・特徴

収録を日本システム管理の収録ソフトで行うので、条件設定により自動でせん断の終了が可能です。また、データ整理も日本システム管理の整理ソフトで処理するので、収録データのコンバートがなくダイレクトにデータを取り込むことが出来ます。

試験機も増設しましたので、三軸試験で「困ったな・・・」という際は是非お声かけください。

よろしく願いいたします。



三軸試験機（テスコ製）

文責 松川 尚史

**協同組合土質屋北陸**

mail to : [info@doshitsuya.or.jp](mailto:info@doshitsuya.or.jp)

11月13日(木) 施設見学会が開催されました。8企業11名と試験センターより3名参加。物理、材料、力学の順に工程の説明と作業の様子を見学いただきました。昼食も重要な要素考え、今回「特製中華弁当」をご用意させていただき、非常に好評でした。昼食後の意見交換会でも意見や要望も出て関心を持ってもらえたようです。今回も「地盤調査における地盤材料試験」の中から「地盤材料試験の活用」を説明させていただき土質試験の必要性を認識いただきました。来年は「石川県、高専、大学」にも参加していただく企画を考えています。



**中部土質試験協同組合**

mail to : [info@geolabor-chubu.com](mailto:info@geolabor-chubu.com)

●技術フォーラム・交流会・研修会に積極的に参加しています。併せて、地盤材料試験の見学会も開催しています。8月以降の主たる行事を列記します。

●特に、11月19日開催の官公庁職員の方々が大変多く参加された第16回技術講習会で、「『ジオ・ラボネットワーク』をもっと積極的に宣伝して欲しい」との意見がありました。

→ 今後も学会や協会活動を通じて、積極的な活動を継続していきたいと考えています。

中部土質試験協同組合の8月以降の主たる参加行事一覧表

種別	No.	開催日 ~ 終了日	主催	会議・研修名称	当組合の主な参加者
講演会 発表会 など	1	8月28日 ~ 8月29日	ジオ・ラボネットワーク (主幹)協同組合島根県土質技術研究C. (後援)全国地質調査業協会連合会	試験組合技術者交流会	坪田邦治 久保裕一 伊藤康弘
	2	9月18日 ~ 9月19日	全国地質調査業協会連合会	「技術フォーラム2014」秋田	坪田邦治 松村竜樹
	3	10月2日 ~ 10月3日	ジオ・ラボネットワーク (後援)協同組合関西地盤環境研究C.	第2回技術研修会	坪田邦治 久保裕一 石原聖子
	4	10月24日	中部地質調査業協会	「中部ミニ・フォーラム2014」	坪田邦治 加藤雅也 江上尊憲 岩田 暁 松村竜樹
地盤材料 試験 見学会 など	1	10月20日	中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所	地盤材料試験研修会 地盤定数の評価など	職員一同
	2	10月23日	ジオ・ラボネットワーク (後援)全国地質調査業協会連合会	臨時経営懇談会	坪田邦治 成瀬文宏(副理事長)
	3	10月25日	地盤工学会中部支部見学会	市民見学会(液状化試験, 液状化モデル実験)	坪田邦治 加藤雅也 池田謙信 伊藤康弘
	4	11月19日	主催: 中部土質試験協同組合 協賛: 中部地質調査業協会	第16回技術講習会・見学会	理事各位 職員一同
	5	12月15日	農水省東海農政局 " 矢作川総合第二期農地防災事業所	動的試験・物理試験見学会	久保裕一 加藤雅也 伊藤康弘

(事務局: 坪田邦治)